

第4学年1組 図画工作科学習指導案

令和3年6月15日（火）3校時
指導者 堀 愛

1. 題材名 「まぼろしの花をさかせよう」

2. 題材目標

- (1) まぼろしの花の世界を表すときの感覚や行為を通して、形や色の感じや組み合わせの感じを理解し、水彩絵の具を適切に扱いながら手や体全体を十分に働かせて表し方を工夫して表す。
- (2) 自分のイメージをもち、まぼろしの花の世界で想像したことから表したいことを見付け、どのように表すか考えたり、自分たちの作品の造形的な良さや面白さ、表し方について感じ取ったりして自分の見方を広げる。
- (3) つくりだす喜びを味わい、進んでまぼろしの花を想像して表す学習活動に取り組む。

3. 単元計画（全5時間）

- | | |
|-------|---------------------|
| 第1時 | だれも見なかったまぼろしの花を考えよう |
| 第2時 | まぼろしの花がさいている世界をつくろう |
| 第3・4時 | まぼろしの花をさかせよう |
| 第5時 | まぼろしの花をしょうかいしよう（本時） |

4. ICT活用の分類

ICT機器	タブレット端末（一人1台 → グループ1台）
アプリ	ロイロノート
機能	写真の貼り付け、拡大・縮小、メモの入力
活用場面	鑑賞・プレゼンテーション

5. 本時におけるICT活用による学びの「しやすさ」とは


本時の学習では、自分が描いたまぼろしの花の気に入ったところを紹介したり、友達の作品の良さや工夫を見付けたりする。そうした鑑賞活動を通して、形や色の感じや組み合わせの感じに気付いたり、造形的な良さや面白さ、様々な表現方法の工夫について考えたりすることで、自分の見方や感じ方を広げることをねらいとしている。

そこで、自分の作品の良さを伝える「伝えやすさ」、友達の作品の良さや工夫を見付ける「見付けやすさ」をICTの活用の「しやすさ」として考えた。これまでの図画工作科の作品の鑑賞では、黒板に子供の作品を掲示して一斉に鑑賞したり、掲示された作品を見て回りながら良いところをコメントしたりという方法が行われてきた。今回ロイロノートを活用することで、自分の作品や友達の作品を写真に記録し、気に入った箇所を拡大して表示したり、自分の気に入った点に焦点を当てて紹介したりできるようになると考えた。また、友達の作品の良さを見付ける場合においてもロイロノートで画像を共有することで、作品の細かな工夫を拡大して見付けたり、筆の表し方の工夫を見付けたりすることができると思った。さらに、こうした作品の記録を残しておくことで、今後の絵画作品制作の手掛かりとしていつでも振り返ることができることを期待している。以上のような「しやすさ」を取り入れることで、よりめあてを達成できる授業を目指したい。

6. 本時目標

自分が描いた「まぼろしの花」の作品を振り返ることを通して、作品の気に入った色や形などを友達に伝えたり、友達の作品の表現の工夫を見付けたりして自分の見方を広げることができる。（思考力・判断力・表現力等）

7. 本時の展開

学習活動 ○発問 ・予想される子供の反応	指導上の留意点と評価 ☆ICT 活用について ◎指導上の留意点 評：評価
1. 前時の学習を振り返り，本時のめあてを確かめる。	◎教科書の作品を紹介し，画像を拡大すること で細かな色や形の工夫を見付けることができることを伝え，鑑賞の視点をもつ。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> わたしの「まぼろしの花」のお気に入り伝えよう。 </div>	
2. ワークシートを基に，自分の作品の気に入ったところを振り返る。 ○作品の中で気に入ったところやがんばったところを振り返りましょう。 ・花びらの色を一つ一つ変えて描いたところが気に入ったな。 ・夜に咲く花だからきれいな夜空を描くところががんばったよ。 ○特に友達に紹介したいところを決めましょう。 ・色を一つ一つ変えたところを紹介したいな。 ・それぞれの花の色に特徴があることを伝えたいな。 3. グループで自分の作品のお気に入りを紹介する。 ○友達に自分の作品を紹介しましょう。 ・花の色を一つ一つ変えたのでめずらしい花の感じを出せたところが気に入っています。 ○友達の発表を聞いたり，作品を見たりして，見付けた工夫や素敵なところを伝えましょう。 ・花びらの色がちょっとずつ変わっているのが面白いと思いました。 ・周りに黄色をぬって光っている感じを出していていいと思いました。	◎写真に記録した作品を拡大・縮小しながら，自分の作品の気に入ったところや頑張ったところをワークシートに振り返らせる。 ◎振り返った中で特に友達に紹介したい箇所を決めることで焦点化させてプレゼンテーションができるようにする。 ☆焦点を当てて紹介したいところは，拡大して紹介したり追加で作品を入れたいしてもよいことを伝える。  ☆個人で撮影した写真をロイロノートで共有し，お気に入りの色や形を伝え合う。 ◎グループで紹介が終わった後，全体でいくつか作品を発表し，様々な表現方法の工夫があることに気付かせる。 評：自分や友達の作品の色や形などの良さを伝えたり，見付けたりして自分の感じ方を広げることができたか。（ワークシート・作成データ） ☆友達の発表や作品の写真を通して，自分が見付けた友達の作品の良さをロイロノートに記入し伝える。



4. 本時の学習を振り返る。

◎本時の学習を振り返り, 今後の作品づくりへの意欲をもつ。